



4章4項 オリジナル画像の作り方

1. 今回の話題

1.1. Webライティングにおいて

1.1.1. 最も重要なのは

1.1.1.1. ユーザー目線を極めることです

1.1.2. そのため

1.1.2.1. Web記事では

1.1.2.2. ただ単に質の高い文章を書くだけでなく

1.1.2.3. 画像を上手く活用することで

1.1.2.4. 視覚的にも読みやすくします

1.1.3. 皆さんもきっと

1.1.3.1. 文字だけがびっしり並んでいる本よりも

1.1.3.1.1. 画像がたくさん載っている雑誌等の方が

1.1.3.1.2. 読む気が起きますよね

1.1.3.2. 特にWeb記事は

1.1.3.2.1. ユーザーの読むモチベーションが低いので

1.1.3.2.2. 上手く画像を活用して

1.1.3.2.3. 読むハードルを可能な限り低くしてあげる

1.1.3.2.4. 必要があります

1.1.3.3. しかも

1.1.3.3.1. 文章から想像して読み取るよりも

1.1.3.3.1.1. 画像がある方が

1.1.3.3.1.2. イメージとして直感的に・瞬時に理解できます

1.1.3.3.2. 「百聞は一見にしかず」

1.1.3.3.2.1. という言葉があるように

1.1.3.3.2.2. 視覚情報は人間の理解において

1.1.3.3.2.3. とても重要な要素なのです

1.1.4. さらに実は

1.1.4.1. この記事内で使用する画像は

1.1.4.2. オリジナルだと

1.1.4.3. SEO的に効果が抜群なのです

1.2. そこで

1.2.1. 今回の動画では

1.2.2. Web記事の価値をさらに高めるために必要な

1.2.3. オリジナル画像を作成する方法

1.2.4. をご紹介します

1.3. 目次は次のとおりです

1.3.1. おすすめのアイコン素材サイト

1.3.2. アイコン素材の選び方

1.3.3. オリジナル画像の作り方

1.4. それでは説明していきます

1.4.1. オリジナル画像を作るなんて難しそう、、

1.4.1.1. と思った方も安心してください

1.4.2. この動画をみれば

1.4.2.1. 質の高い画像の作り方が

1.4.2.2. 誰にでも理解できます

2. おすすめのアイコン素材サイト

2.1. まず

2.1.1. 記事で使う画像って、そもそもどんなモノなの？

2.1.2. と、イメージが湧かない方もいると思うので

2.1.3. 例を挙げると

2.1.3.1. こんな感じの画像です

2.1.3.2. 他にもこんな感じの画像もあります

2.1.4. 「写真」というよりは簡単な「図解」のようなイメージなのが

2.1.5. お分かりいただけると幸いです

2.2. という訳で

2.2.1. まずは画像を作る材料となる

2.2.2. アイコン素材

2.2.3. を見つけるサイトをご紹介します

2.3. おすすめの

2.3.1. アイコン素材サイトは

2.3.1.1. 「フラットアイコン」

リンク: <https://www.flaticon.com/>

2.3.1.2. というサイトです

2.3.1.3. ちなみに

2.3.1.3.1. フラットアイコンのリンクは

2.3.1.3.2. 下に貼っておきますので

2.3.1.3.3. チェックしてみてくださいね

2.3.2. 素材を探す際には

2.3.2.1. 文中のキーワードを英語に変換して

2.3.2.2. 検索してください

2.3.2.3. ただ

2.3.2.3.1. シンプルな英単語でないと

2.3.2.3.2. なかなか目当てのアイコンに辿り着けないので

2.3.2.3.3. 注意しましょう

2.3.3. また

2.3.3.1. フラットアイコンの良いところは

2.3.3.1.1. 様々なスタイル（トーン）のアイコンが用意されている所です

2.3.3.2. このようにそれぞれのアイコンについて

2.3.3.2.1. 右下にスタイルが記載されています

2.3.3.3. よくあるスタイルのパターンとしては

2.3.3.3.1. 以下のようなものがあります

2.3.3.3.2. Flat（フラットデザイン）

2.3.3.3.3. Lineal Color（線＋色）

2.3.3.3.4. Filled（黒塗りつぶし）

2.3.3.3.5. Gradient（グラデーション）

2.3.4. フラットアイコンでは

2.3.4.1. 様々な種類の

2.3.4.2. 著作権フリー（商用利用可能）のアイコンが

2.3.4.3. 無料でダウンロードできます

2.4. 他にも

2.4.1. アイコン素材のサイトはありますが

2.4.2. くれぐれも著作権には気をつけて

2.4.3. 使用するようになさってくださいね

3. アイコン素材の選び方

3.1. 先ほど

3.1.1. 「フラットアイコン」の説明の時に

3.1.1.1. 様々なスタイル（トーン）があるのが良い所だ

3.1.1.2. と少し触れましたが

3.1.2. 実はアイコン素材を選ぶ時に

3.1.2.1. 最も重要ポイントなのが

3.1.2.1.1. トーンを揃えること

3.1.2.2. ブランディング用語で言うと

3.1.2.2.1. トーン&マナーを決めること

3.1.2.3. です

3.1.3. トーン&マナーとは

3.1.3.1. 簡単に言うと

3.1.3.2. 「デザインに一貫性を持たせること」です

3.1.3.3. 引用：トンマナ（トーン&マナー）とは 意味や設定の例・ポイントを解説

リンク: <https://min-web.com/dictionary/tone-manner/>

3.2. つまり

3.2.1. 何が言いたいかというと

3.2.2. アイコン素材を選ぶ際には必ずトーンマナーを考えて選ぶ

3.2.3. もっと言えば

3.2.3.1. 1記事内にトーンマナーが揃わないアイコン選びはしない

3.2.4. ことが重要なのです

3.3. 具体的にいうと

3.3.1. NG例

3.3.1.1. この画像は

3.3.1.2. トーンがバラバラなので

3.3.1.3. 統一感がなく

3.3.1.4. ゴチャゴチャとした印象になってしまいます

3.3.2. OK例

3.3.2.1. この画像のように

3.3.2.2. トーンを揃えて

3.3.2.2.1. 「フラットアイコン」なら

3.3.2.2.2. 右下のスタイルの部分を確認して

3.3.2.3. スッキリ見やすい画像を作りましょう

4. オリジナル画像の作り方

4.1. アイコン素材（材料）が

4.1.1. 揃ったところで

4.1.2. 今度は

4.1.3. どのようにオリジナル画像を作っていくか

4.1.4. を具体的に説明していきます

4.2. ここでは

4.2.1. レベル1～3と段階分けして

4.2.2. 質の高いオリジナル画像の作り方を

4.2.3. ステップに分けて説明していきます

4.3. レベル1：SEO最適化した配置や文字挿入

4.3.1. まずは

4.3.1.1. レベル1：シンプルに必要最低限レベルの

4.3.1.2. オリジナル画像ということで

4.3.1.3. このように

4.3.1.3.1. この画像は

4.3.1.3.2. わかりやすい例として挙げていますが

4.3.1.3.3. 本来はもう少し情報があった方が望ましいです

4.3.1.3.4. そのため

4.3.1.3.4.1. この後説明する

4.3.1.3.4.2. 具体的な方法を参考に

4.3.1.3.4.3. 図解を作りましょう

4.3.1.4. アイコン素材と文字を組み合わせる

4.3.1.5. SEO最適化した配置で

4.3.1.6. 画像を作ります

4.3.2. 具体的には

4.3.2.1. 次の2ステップで画像を作ります

4.3.2.2. 見出し文言をつける

4.3.2.2.1. ここでは

4.3.2.2.1.1. 見出し配下に入っている文章を要約した文言

4.3.2.2.1.2. を画像の見出しに設定します

4.3.2.2.2. ここでポイントなのは

4.3.2.2.2.1. 見出しと全く同じ文言にはしない

4.3.2.2.2.2. ということです

4.3.2.2.2.2.1. NG例（見出しと全く同じ文言）

4.3.2.2.2.2.1.1. 転職プラス | おすすめ転職エージェント・サイトの専門メディア

リンク: <https://www.in-fra.jp/tenshoku>

4.3.2.2.2.3. 基本的に

4.3.2.2.2.3.1. 画像は見出し直下に配置するので

4.3.2.2.2.3.2. 見出しと100%同じだとクドイし

4.3.2.2.2.3.3. あえて文言を入れる意味が無くなってしまうからです

4.3.2.2.2.4. また

4.3.2.2.2.4.1. Googleのクローラー（Web上を巡回するロボット）は

4.3.2.2.2.4.2. 配置する画像が周辺の文言と関連性があるかどうかを

4.3.2.2.2.4.3. チェックしているので

4.3.2.2.2.4.4. 画像の内容は必ず周辺の文章と関連性のあるようにしましょう

4.3.2.2.2.4.4.1. 理想としては

4.3.2.2.2.4.4.2. 周辺の文章を要約しつつも

4.3.2.2.2.4.4.3. もっと本文中の内容が読みたくなるような

4.3.2.2.2.4.4.4. 衝撃の事実などをタイトルにできると

4.3.2.2.2.4.4.5. 最高です

4.3.2.3. 内容に関連性のあるアイコン素材を配置する

4.3.2.3.1. アイコンを使うことで

4.3.2.3.2. 例えば

4.3.2.3.2.1. これは「アプリの課金」に対する価値観をイメージ化した図解です

4.3.2.3.2.1.1. <https://markelabo.com/n/n061903e0ebc5>

4.3.2.3.3. このように

4.3.2.3.3.1. アイコン素材を使うだけで

4.3.2.3.3.2. 頭を使って文字から読み取ろうとしなくても

4.3.2.3.3.3. イメージが可視化されているので

4.3.2.3.4. ユーザーが直感的に

4.3.2.3.4.1. 内容を読み取れるようになります

4.3.3. ポイントは

4.3.3.1. 「スマホファースト」にする

4.3.3.2. =スマホで見ても見やすい図解を作ることです

4.3.3.3. 近年では

4.3.3.3.1. スマホの利用率が高まり

4.3.3.3.2. Web検索する際にも多く使われているからです

4.3.3.4. 具体的にいうと

4.3.3.4.1. 画像の縦横に気をつける必要があります

4.3.3.4.2. 横表示の画像だと

4.3.3.4.2.1. スマホで見たときに

4.3.3.4.2.2. レイアウトによって

4.3.3.4.2.3. 文字などが小さく表示されてしまいます

4.3.3.4.3. 対して縦表示の画像だと

4.3.3.4.3.1. スマホ画面でも

4.3.3.4.3.2. 大きく表示されます

4.3.3.5. そのため

4.3.3.5.1. 画像の内容や用途によって

4.3.3.5.2. 縦横を使い分けましょう

4.3.3.5.3. 具体的にいうと

4.3.3.5.3.1. 情報量や文字が多い時は縦にしたり

4.3.3.5.3.2. ターゲットがPC・スマホのどちらで調べることが多いのかで縦横を決めたり

4.3.3.5.3.3. 判断が難しい場合は一人で判断せずに

4.3.3.5.3.4. ディレクターなどに相談することをおすすめします

4.4. レベル2：図解パターンの活用

4.4.1. 次は

4.4.1.1. 図解パターンを活用して関係性を表現する

4.4.1.1.1. 図解の型 | 「現場の知恵」を蓄積・活用する「考動知図」

リンク: <http://www.teoria.jp/?cat=6>

4.4.1.2. 画像です

4.4.2. 例えば

4.4.2.1. 相互の関係性を矢印で表現したり

4.4.2.1.1. 転職プラス | おすすめ転職エージェント・サイトの専門メディア

リンク: <https://www.in-fra.jp/tenshoku>

4.4.2.2. マトリックスを活用して複数の商材を比較したり

4.4.2.2.1. <https://www.kakehashi-skysol.co.jp/media>

リンク: <https://www.kakehashi-skysol.co.jp/media/site-pharmacist/>

4.4.2.3. 図式化してあげることで

4.4.2.4. 読み手はより瞬時に

4.4.2.5. コンテンツの内容を読み取ることができます

4.5. レベル3：データを再編してまとめる

4.5.1. 関係性を表現するだけでなく

4.5.1.1. さらに多くの情報を

4.5.1.1.1. (データに基づいた情報を)

4.5.1.2. まとめて

4.5.1.3. 図にするのがレベル3です

4.5.2. 例えば

4.5.2.1. 転職プラス | おすすめ転職エージェント・サイトの専門メディア

4.5.2.2. このように

4.5.2.2.1. 特徴とこんな人におすすめと

4.5.2.2.2. 大きく2つに分けていて

4.5.2.2.3. バーを使ったりボタンを使ったり

4.5.2.2.4. 配置もうまく考えて

4.5.2.2.5. 様々な情報を分かりやすく整理しています

4.5.2.3. 他にもこのように

4.5.2.3.1. https://markelabo.com/n/nd65596a1cc63?magazine_key=mc375c9b46464

4.5.2.3.2. 記事で伝えたい大事な要素を

4.5.2.3.2.1. 整理してあげることで

4.5.2.3.3. 本文を読まなくても有益な情報が読み取れるので

4.5.2.3.3.1. 「ユーザーに優しい記事」になるだけでなく

4.5.2.3.4. もっと詳しく知りたい！と

4.5.2.3.4.1. ユーザーが本文を読み進めるきっかけになったり

4.5.2.3.5. 内容を整理してから本文を読めるので

4.5.2.3.5.1. 記事コンテンツ自体に対する理解度

4.5.2.3.5.2. を高めたりすることもできます

4.5.2.4. 図解によって得られる情報量が

4.5.2.5. 圧倒的に多いことが分かります

4.5.3. 可能であれば

4.5.3.1. 様々な数値やエビデンスデータを集計して

4.5.3.2. デザインとして抽象化できるとさらに良い図解になります

4.5.3.3. 例えば

4.5.3.3.1. ここでは84%という数値が組み込まれています

4.5.3.3.1.1. <https://markelabo.com/n/n10f1e0b87a1e>

4.5.3.3.2. このように数値に基づいた図解だと

4.5.3.3.3. より説得力が高まります

4.5.3.4. また

4.5.3.4.1. これはWeb上でボタンを設置するときに

4.5.3.4.1.1. 【検証】 クリックされるボタンの色は？ | WebNAUT

リンク: <https://webnaut.jp/design/631.html>

4.5.3.4.2. 「何色のボタンだと、どのくらいのクリック率になるのか」

4.5.3.4.3. をグラフにして可視化したものです

4.5.3.4.4. このように

4.5.3.4.4.1. テキストのみだと

4.5.3.4.4.1.1. 理解するのに時間がかかりがち

4.5.3.4.4.2. 「数値の比較」は

4.5.3.4.4.3. グラフなどを用いて一目で分かるようにすると良いです

4.5.3.5. さらに

4.5.3.5.1. 図解の下に

4.5.3.5.2. 根拠となるデータを添付できると

4.5.3.5.2.1. <https://markelabo.com/n/n96a7468e3f96>

4.5.3.5.3. 信頼性が高まって、もっと価値の高い図解になります

4.5.4. このように

4.5.4.1. 様々な情報を分かりやすく

4.5.4.1.1. まとめることができれば

4.5.4.2. ユーザーにとっても

4.5.4.2.1. 手っ取り早く必要な情報をゲットできる

4.5.4.3. 価値の高い画像になる、という訳です

5. まとめ

5.1. 今回の動画では

5.1.1. Web記事の価値を高めるために

5.1.2. ポイントとなる

5.1.3. オリジナル画像の作り方について

5.1.4. 素材の集め方からクオリティーの高め方まで

5.1.5. ご説明しました

5.2. 文章だけでなく

5.2.1. オリジナル画像のクオリティーを高めることができれば

5.2.2. より「価値の高い記事」に仲間入りです

5.3. 皆さんもぜひ

5.3.1. はじめは難しいかもしれませんが

5.3.2. 今回ご紹介した方法や

5.3.2.1. 図解パターンを活用して

5.3.3. ユーザーに喜ばれるオリジナル画像を

5.3.4. 作りましょう